

平成24年度事務事業評価シート

取組みコード	21211
成日	H24.5.18
予算科目	8.1.1.4.1

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ			
部	第2部 安全で安心して暮らせるまちづくり	章	第1章 災害対策と安全対策
節	第2節 消防・救急体制の充実	基本施策	1 火災の未然防止
取組みの基本方向	(1)住民の防火意識高揚につとめるとともに、住宅用火災警報器の設置など、住宅の防火対策を促進します。		
根拠法令等			
目 的 (誰・何を対象に、何のために)	消防、救急及び防災に関する体験型アトラクション事業を実施し、AEDや住宅用火災警報器、救急車の適正利用等についてPRを行い、町民の消防に対する信頼と理解を深め、防火意識の向上と災害に強い町づくりを目指すことを目的に実施する。		
内容・方法 (何を行って いるのか)	【事業内容】 ・消防コーナー 水消火器による消火体験、煙体験、消防車乗車体験 ・救急コーナー AEDの体験、身近な応急手当 ・防災コーナー 防災物品等の展示、東日本大震災における消防署の活動記録展示		

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名		平成21年度		平成28年度		
		『消防・救急体制の充実』について「満足」と感じる住民の割合(%)		54.3		57.0		
	指標の名称(単位)	増減	指標の説明	項目	基準年度 (H22年度)	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標	入場者数(人)	増	消防・防災フェスティバル入場者数	計画値		500	500	500
				実績値	450	450	450	
				達成度※自動計算		90.0	90.0	
活動指標	周知回数(回)	増	来客者数増やすため、周知回数を指標とする。 (手段)町広報誌、HP、防災メール	計画値		3.0	3.0	3.0
				実績値	3.0	3.0	3.0	
				達成度※自動計算		100.0	100.0	

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年 度		基準年度(決算) (H22年度)	平成22年度(決算)	平成23年度(決算見込)	平成24年度(予算)
(A)事業費(円)		52,379	52,379	30,600	40,000
(B)概算職員数(人)		0.040	0.040	0.040	0.040
(C)=(B)×(E) 人件費(円) ※自動計算		332,000	332,000	332,000	332,000
(D)=(A)+(C) 総事業費(円)※自動計算		384,379	384,379	362,600	372,000
単位当たりコスト※自動計算		854.2	854.2	805.8	
財源内訳 (円)	特定財源	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源※自動計算	384,379	384,379	362,600	372,000

4. 事業の項目別評価(分析)

項 目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	公益性 直接的である、間接的であると問わず、事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質か 必要性 当該事業を実施しなければ町民生活に支障をきたすなど、必要不可欠なものであるか	高低	B
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成23年度の目標を達成している 基準年度と比較して成果が向上している	× ○	B
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (判定基準) A 成果が向上していて、費用も縮減している B 費用が増加しているが、費用の増加率よりも成果の向上率の方が高い 成果が低下しているが、成果の低下率よりも費用の縮減率の方が高い C 成果が向上しているが、成果の向上率よりも費用の増加率の方が高い 費用を縮減しているが、費用の縮減率よりも成果の低下率の方が高い 費用が増加し、成果も低下している	向上率 成果 100.00% 縮減率 費用 94.33%	A
総合評価 ※自動判定		改善すべき点がある	

5. 特記事項

--

6. 1次評価(担当課)

評価結果	☐ 現状維持	☒ 改善して実施する	☐ 廃 止
理由	限られた人員で運営しなければならないが、来場者に対する安全管理面は怠ってはならない。		
今後の方向性	消防・防災フェスティバルは、職員の自由な発想で消防防災に関する事業展開させることが大切であるため、子供向けの内容を増やしていくなど、工夫を凝らした各種コーナーを考える必要がある。		

7. 2次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	☐ 現状維持	☒ 改善して実施する	☐ 廃 止
今後の方向性に係る意見等	所管課の方向性のほか、ふるさとまつりと十分連携し、より多くの方に来場していただく工夫をすること。		

8. 外部評価(行政改革推進委員会)

評価結果	☐ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃 止
今後の方向性に係る意見等			

9. 外部評価(実施のない場合は2次評価)を踏まえた対応案(担当課)

消防・防災フェスティバルは、職員の自由な発想で消防防災に関する事業を展開できることから、来場者の安全管理に配慮しながら、子供向けの内容を増やしていくなどの工夫を凝らし、来場者の増員を図るように努める。
--

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃 止
理由・改善方針	当面は現状のまま事業を継続しつつ、所管課の対応案のとおり、来場者数増加に向けて取り組むものとする。		